



2019年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年4月25日

上場会社名 株式会社電通国際情報サービス
 コード番号 4812 URL <https://www.isid.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長執行役員
 四半期報告書提出予定日 2019年5月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 名和 亮一
 (氏名) 上原 伸夫
 TEL 03-6713-6160

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第1四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第1四半期	23,035	8.6	2,558	15.4	2,567	14.5	1,743	13.3
2018年12月期第1四半期	21,217	6.6	2,217	31.6	2,242	28.3	1,538	11.2

(注) 包括利益 2019年12月期第1四半期 1,779百万円 (24.1%) 2018年12月期第1四半期 1,433百万円 (10.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第1四半期	53.52	
2018年12月期第1四半期	47.21	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第1四半期	80,021	51,592	64.4
2018年12月期	80,273	50,966	63.5

(参考) 自己資本 2019年12月期第1四半期 51,569百万円 2018年12月期 50,935百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期		28.00		35.00	63.00
2019年12月期					
2019年12月期(予想)		35.00		35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	46,264	7.4	3,960	4.2	3,930	1.8	2,678	1.4	82.20
通期	93,000	2.2	8,500	3.2	8,408	2.6	5,683	9.6	174.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期1Q	32,591,240 株	2018年12月期	32,591,240 株
期末自己株式数	2019年12月期1Q	8,663 株	2018年12月期	8,663 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期1Q	32,582,577 株	2018年12月期1Q	32,582,702 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は4ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

単位：百万円

	2018年12月期 第1四半期累計	2019年12月期 第1四半期累計	増減額	増減率
売上高	21,217	23,035	+1,818	+8.6%
営業利益	2,217	2,558	+341	+15.4%
営業利益率	10.4%	11.1%	+0.7p	-
経常利益	2,242	2,567	+325	+14.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,538	1,743	+205	+13.3%

当第1四半期連結累計期間(2019年1月1日～2019年3月31日)におけるわが国経済は、輸出や生産の一部に弱さがみられたものの、企業収益や設備投資は堅調に推移し、景気は緩やかな回復が継続しました。情報サービス産業におきましても、企業の情報化投資への需要が継続し、事業環境は堅調に推移しました。

かかる状況の下、当社グループは、当連結会計年度より企業理念を一新するとともに、3ヵ年を対象とした新たな中期経営計画「ISID X(Cross) Innovation 2021」をスタートさせました。基本方針として「主力事業の進化」「新規事業の創出」「事業基盤の革新」を掲げ、既存事業の強化に加え、テクノロジー、業界、企業などの枠を超えた新しい価値の協創に向けた取り組みを推進することにより、2021年12月期の定量目標(連結売上高1,100億円、連結営業利益110億円、連結営業利益率10.0%、ROE12.5%)の達成を目指してまいります。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高23,035百万円(前年同期比108.6%)、営業利益2,558百万円(同115.4%)、経常利益2,567百万円(同114.5%)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,743百万円(同113.3%)となりました。

売上高については、当社グループが展開する4つの事業セグメントのうち、金融ソリューション、ビジネスソリューションおよびコミュニケーションITが好調に推移し、前年同期比で増収となりました。利益面につきましても、販売費及び一般管理費が増加したものの、増収効果により、前年同期比で増益となりました。

事業セグメント別の売上高、営業利益および営業の状況は以下のとおりです。

■事業セグメント別売上高および営業利益

単位：百万円

事業セグメント	2018年12月期 第1四半期累計			2019年12月期 第1四半期累計			増減額	
	売上高	営業利益	営業 利益率	売上高	営業利益	営業 利益率	売上高	営業利益
金融ソリューション	4,948	336	6.8%	5,778	422	7.3%	+830	+86
ビジネスソリューション	3,908	190	4.9%	4,489	507	11.3%	+581	+317
製造ソリューション※	7,678	1,031	13.4%	7,667	940	12.3%	△11	△91
コミュニケーションIT	4,682	658	14.1%	5,099	688	13.5%	+417	+30
合計	21,217	2,217	10.4%	23,035	2,558	11.1%	+1,818	+341

※当第1四半期連結会計期間より、「エンジニアリングソリューション」としていた報告セグメント名称を「製造ソリューション」に変更しております。

■事業セグメント別営業の状況

金融ソリューション

金融機関をはじめ企業における各種金融業務を支援するITソリューションの提供を主たる事業としています。

当第1四半期連結累計期間は、政府系金融機関ならびに事業会社向けのシステム開発売上が拡大したことから、増収増益となりました。

ビジネスソリューション

基幹システムや経営・人事管理分野を対象としたITソリューションの提供を主たる事業としています。

当第1四半期連結累計期間は、人事管理ソリューション「POSITIVE」および連結会計ソリューション「STRAVIS」等の販売が堅調に推移したことに加え、ERP分野のソフトウェア商品販売が拡大したことから、増収増益となりました。

製造ソリューション

製造業の製品開発/製造/販売/保守にわたる製品ライフサイクル全般を対象とするITソリューションの提供を主たる事業としています。

当第1四半期連結累計期間は、3次元CADシステム「NX」等の販売が減少した一方で、自動車業界向けに、MBD導入を支援する構想設計ソリューション「iQUAVIS」やスマートファクトリー領域のソフトウェア商品販売が堅調に推移したことから、前期並みとなりました。利益面につきましては、人員増により人件費が増加したことから、減益となりました。

コミュニケーションIT

電通グループに対する基幹システムの提供、および電通グループとの協業によるITソリューションの提供を主たる事業としています。

当第1四半期連結累計期間は、電通グループの基幹システム領域におけるシステム開発が拡大しました。また、電通グループとの協業によるビジネスが公共機関向けを中心に堅調に推移したことから、増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

① 資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して252百万円減少し、80,021百万円となりました。流動資産は、前払レンタル料・保守料の契約更新時期であること等から前渡金が増加したものの、売上債権の減少、税金の納付・配当の支払等による預け金の減少があり、前連結会計年度末と比較して1,651百万円減少し、63,017百万円となりました。固定資産は、顧客向けサービスのためのソフトウェア(リース資産)の取得、資本提携による投資有価証券・関連会社株式の取得、繰延税金資産の増加等により、前連結会計年度末と比較して1,399百万円増加し、17,003百万円となりました。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末における総負債は、前連結会計年度末と比較して879百万円減少し、28,428百万円となりました。流動負債は、主に法人税・消費税等の納付により、前連結会計年度末と比較して969百万円減少し、25,582百万円となりました。固定負債は、主に資産除去債務の増加により、前連結会計年度末と比較して91百万円増加し、2,846百万円となりました。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、剰余金の配当があったものの、主に当社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加した結果、前連結会計年度末と比較して626百万円増加し、51,592百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期(累計)および通期業績予想につきましては、2019年2月8日に発表した予想より変更はありません。

※予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は業況の変化等により予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,878	3,156
受取手形及び売掛金	19,958	17,709
商品及び製品	96	102
仕掛品	1,529	1,885
原材料及び貯蔵品	25	27
前渡金	8,080	9,513
預け金	31,054	29,658
その他	1,047	965
貸倒引当金	△1	△2
流動資産合計	64,668	63,017
固定資産		
有形固定資産	4,173	4,213
無形固定資産	2,956	3,032
投資その他の資産		
投資その他の資産	8,476	9,759
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	8,475	9,758
固定資産合計	15,604	17,003
資産合計	80,273	80,021
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,839	7,871
未払法人税等	2,314	1,068
前受金	8,735	7,878
受注損失引当金	523	529
その他	8,138	8,234
流動負債合計	26,551	25,582
固定負債		
退職給付に係る負債	22	24
資産除去債務	872	944
その他	1,860	1,877
固定負債合計	2,755	2,846
負債合計	29,307	28,428

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,180	8,180
資本剰余金	15,285	15,285
利益剰余金	27,292	27,896
自己株式	△29	△29
株主資本合計	50,729	51,333
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29	36
為替換算調整勘定	176	200
その他の包括利益累計額合計	205	236
非支配株主持分	30	23
純資産合計	50,966	51,592
負債純資産合計	80,273	80,021

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
売上高	21,217	23,035
売上原価	14,077	15,394
売上総利益	7,140	7,641
販売費及び一般管理費	4,922	5,082
営業利益	2,217	2,558
営業外収益		
受取利息及び配当金	10	8
持分法による投資利益	1	-
保険配当金	48	62
雑収入	9	4
営業外収益合計	70	75
営業外費用		
支払利息	5	7
持分法による投資損失	-	27
投資事業組合運用損	19	13
為替差損	18	17
雑損失	0	0
営業外費用合計	44	66
経常利益	2,242	2,567
税金等調整前四半期純利益	2,242	2,567
法人税、住民税及び事業税	1,107	1,131
法人税等調整額	△406	△312
法人税等合計	701	819
四半期純利益	1,541	1,748
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,538	1,743

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益	1,541	1,748
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16	6
為替換算調整勘定	△91	24
その他の包括利益合計	△107	30
四半期包括利益	1,433	1,779
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,430	1,774
非支配株主に係る四半期包括利益	3	4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年1月1日至2018年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	金融 ソリューション	ビジネス ソリューション	製造 ソリューション	コミュニ ケーション IT	合計
売上高					
外部顧客への売上高	4,948	3,908	7,678	4,682	21,217
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,948	3,908	7,678	4,682	21,217
セグメント利益	336	190	1,031	658	2,217

(注) セグメント利益の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	金融 ソリューション	ビジネス ソリューション	製造 ソリューション	コミュニ ケーション IT	合計
売上高					
外部顧客への売上高	5,778	4,489	7,667	5,099	23,035
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,778	4,489	7,667	5,099	23,035
セグメント利益	422	507	940	688	2,558

(注) 1. セグメント利益の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

2. 当第1四半期連結会計期間より、「エンジニアリングソリューション」としていた報告セグメント名称を「製造ソリューション」に変更しております。この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。なお、前第1四半期連結累計期間の報告セグメントについても、変更後の名称で表示しております。